



かむほどに味わいが広がる鹿肉 おいしいなあ～

松橋町内田区で山開きイベント

次は登った達成感とともにこの味を

11/24 松橋町内田区で開催予定だった白岩山の山開きは天候不良のため中止となりましたが、県内各地から集まった人々に鹿肉やヤマメの塩焼き、猪汁など地元の食材を使った品々が振る舞われ、普段は食べられない味覚を楽しむ姿が見られました。嘉島町から訪れていた原清弘さん(52)は「来年こそは白岩山に登りたい。でも、猪汁は最高！自然のユズがまたおいしい」と温かな料理に満足げでした。



野菜がたくさん入っていておいし～ ◎

女子ハンドボール世界選手権大会にちなんだ給食を堪能 給食で学ぶ異文化

11/26 「2019女子ハンドボール世界選手権大会」出場国であるスロベニアの伝統的な料理が松橋校区の学校給食として登場しました。児童らは大麦や豆を煮込んだリチュエットなどに舌鼓。松橋小学校では、栄養教諭の説明に耳を傾けながら、料理を堪能していました。この日以外にもキューバやセルビアの代表的な料理が提供され、児童たちは食経験を広げました。



間さんの話に笑顔が広がる

間寛平さん当尾仮設住宅を訪問

気さくな人柄で絶えない笑い

11/28 タレントの間寛平さんが後輩芸人のもっこすファイヤーと当尾仮設住宅を訪れ、集まった住民らにひとときの笑いを届けました。2017年から熊本地震の被災地訪問を続けている間さん。間さんは「困ったことはない？」と気遣いながらも、「初めて来たけれどいいところ。世界中いろいろ訪れたけれど、宇城市が一番。どこでも言ってるけどね」などと軽快なトークで住民を楽しませていました。



出身地ごとにテーブルにつく参加者

第15回 東京宇城市会総会・懇親会が開催

広げようふるさとの輪

11/30 東京都千代田区の東海大学校友会館で、首都圏在住の宇城市出身者が集う東京宇城市会の総会が開かれ、122人が出席しました。守田憲史市長も参加し、復興状況や戸馳大橋の開通など近況を報告。参加者は市の特産品や風景写真などを楽しみながら、ふるさとを懐かしんでいました。「都内でも定住促進の動画が流れ、懐かしかった」「市のPRを強化してもらいたい」などの声も聞かれました。

宇城合唱祭

伸びやかな歌声を響かせて

11/10 ウイングまつばせで宇城合唱祭が開催されました。童謡や歌謡曲などの合唱のほか、ハーモニカの演奏なども行われ、12団体の歌声や楽器の音色が響き渡っていました。最後には、全員で市歌を合唱。場内は充実感で満ちていました。トップバッターを務めた松橋コール・グリーンの河野恭子さん(79)と林田絹子さん(69)は「毎年参加しているが、これからも頑張りたい」と意気込んでいました。



「この街で」を朗らかに歌う松橋コール・グリーン

曲野児童館閉館式

大好きな先生、大好きな思い出

11/10 3月に閉館を迎える曲野児童館で閉館式が行われ、約100人が集まりました。同館は昭和39年に開館して56年間、3歳から就学前までの保育を担ってきました。式では、人形芝居やスタンプラリーなどが行われ、児童らの笑顔が多く見られました。卒館生の永津沙耶香さん、木下稚葉さん、久山愛乃さん(全て高校3年生)は「恩師にはたくさん叱られたけど、今でも大好き」と振り返っていました。



お餅やお菓子をたくさん取るぞ！

文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」でミュージカル 身近に感じる芸術

11/14 松合小でミュージカルの体験授業が開かれました。講師は舞台女優の玄海椿さんら3人。児童たちは母親のお腹の中から100歳までを生きる物語などを演じていました。6年生の白石優心さんは「恥ずかしがらずに声を出すことを学んだ。夢をかなえるために今できることを行い、周囲の人を大切にしていきたい」と目を輝かせていました。翌日には、同小と青海小で公演も行われました。



全身を使って歌舞伎の動き

図書館まつり

図書館でノリノリ体験♪

11/23・24 市内の図書館で図書館まつりが開催されました。24日には、中央図書館駐車場ではたらくのりものを展示。普段は乗ることができない車両の運転席で楽しむ子どもたちの姿が見られました。館内では、現役のJALパイロットによる「お仕事講座」が行われ、子どもも大人も興味深そうに聞き入っていました。不知火町の松田富美子さん(69)は「孫の楽しそうな顔が見れた」と目を細めていました。



シヨベルカーってこうやって運転するのかな♪